

山科朝則事務所 〒996-0033 新庄市下金沢町4番20号 TEL.0233-25-8778 FAX.0233-25-8777

吉村知事をお迎えし、県政報告会を開催しました

山科朝則レディースセミナー



吉村美栄子山形県知事をお迎えし、山尾順紀新庄市長はじめ、多くのご来賓の方々にご臨席いただき、「山科朝則県政報告会・レディースセミナー」を開催いたしました。

大きなテーマとして「雪に強い地域づくり、流雪溝の整備と農業用水の流雪溝への利用」、「県立新庄病院の機能強化・建て替え」、「高速道路交通網の整備と産業振興」について報告を致しました。

知事からは、県政運営全体の考えを中心に、受動喫煙防止に関する動きや消費税増税等についてのお話がありました。

今回報告できなかった事柄等については、今後の県政報告会や誌面を活用して報告して参ります。



新庄農業用水とは

大蔵村清水の最上川から毎秒五・九〇m³(最大)をポンプで取水し、鳥越駒場の頭首口を経て市内の水田を潤しています。新庄市内の慢性的な農業用水不足を解消するため、先人の努力により国営事業として平成四年に完成。これにより農家は、干ばつの被害や水争いから解放されました。農業予算で整備したものです。水が流雪用や再生可能エネルギーに利用することで、市民の財産として多くの皆さんが受益者となります。

水はタダ、川からの取水は自由ではないかと思われるかもしれませんが、川の水には水利権があり簡単に取水はできません。新庄農業用水は、農業用水水利権だけでなく、冬期間の多目的な水利権も獲得しています。

雪に強い地域づくりに

雪捨て場のない市街地において最も効果的な雪対策は「流雪溝の整備、活用」ですが、まだ水が流れず雪捨てに苦労されている地域が多いのが実情です。また、流雪溝として整備されていない側溝のサイズや勾配などの問題もあり、雪が詰まったり水上がりが頻発したりする箇所も見られます。

厳しい財政状況の中であっても流雪溝を整備することは、新庄に生活し続けるために進めていかなければなりません。

また、水量の確保については、新庄用水(農業用水)をさらに利用することが必要です。

救急医療、感染症対策、災害時の対応、安心して出産できる機能等に加え、最上地域は県内でも高齢化のスピードが速く、健康寿命を延ばす取り組みも含め更に増加する高齢者に対し、新たな機能、がん患者への緩和ケア、新たな国民病への対応等、この地域にどのような機能が必要なのか市民の皆さん、医師会、各福祉関係の方々とともに考え、議論し、要望していくことが不可欠だと考えています。

人口減少が予想されますが、新庄病院が新庄最上地域において唯一の中核病院である以上、病床数も含め県立新庄病院にさらなる機能強化を求めたいと考えてはなりません。新庄最上地域は大阪府や香川県とほぼ同じ面積です。病気になる時、高齢になつた時、山形市や酒田市等の医療機関まで受診することがどの程度可能でしょうか。高齢化社会に直面し、新庄病院の果たす役割は今後ますます大きくなっていくのであります。

県立新庄病院の機能強化と建て替えについて

新庄病院の建て替えについては多くの市民の方、また最上地域に暮らしている方の願いです。これまでに二度、新庄病院に関しては市民の皆様から署名に協力して頂いています。一度目は、独立行政法人化に反対し県立病院として維持していくための要望でした。二度目は、新庄病院の機能強化と建て替えを第6次保健医療計画に明記するための要望でした。昨年発表された第6次保健医療計画には、新庄病院の機能強化と建て替えが明記されました。

私は、新庄病院を単に建て替えるだけでなく、同時に今の病院機能をさらに向上させる必要があると考えています。

皆様の声を県政に反映させ、地域最優先で職務に当たって参ります

日頃より皆様にはご意見、ご指導を賜りお礼申し上げます。この度、平成26年度山形県当初予算が決定しましたのでご報告いたします。26年度は人材育成や産業振興に重点が置かれています。特に、製造業では付加価値額1兆円を目指した施策に着手します。一方で、基幹産業である農業関係では、米政策見直しへの対応や新規就農支援策が盛り込まれています。また、子育て支援策として医療給付が小学3年までに拡充されます。

26年度は、大型観光誘客事業山形デスティネーションキャンペーンやもがみ観光博、全国育樹祭(記念行事として、新庄中核工業団地にて「林業機械展」、また鮭川村にて「全国緑の少年団活動発表大会」が開催予定)などの開催が予定されるとともに、先般、新庄まつりがユネスコ無形文化遺産への登録

申請候補に挙げられたことも加わり、新庄最上地域の注目度が高まる年となります。

このたび、県議会において厚生環境常任委員会の委員長の職をお預かりしました。厚生環境常任委員会は、医療、福祉、子育て、エネルギー、危機管理等を所管する委員会です。

26年度も皆様の声を県政に反映させ、地域最優先で職務に当たって参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

山形県議会議員

山科朝則



平成26年度 政府や県への提言を進めます

1 再生可能エネルギー導入促進対策

- 地元資本や地元企業を中心とする大容量の発電システムの導入拡大に関する事
- 中小水力発電及び木質バイオマスエネルギー地域熱供給システムの導入促進に関する事
- 再生可能エネルギー関連産業の振興に関する事
- 低炭素社会の推進に関する事

2 中小企業経営力強化・人材育成対策

- 中小企業を担う経営者及び技能者の育成並びに若手人材の確保に関する事
- 高度化・複雑化する経営課題に取り組む中小企業者への支援に関する事
- 新たな需要を切り開くための新商品開発及び技術開発への支援に関する事
- 県内外から海外展開まで見据えた販路の開拓・拡大に関する事

3 子ども育成・若者支援対策

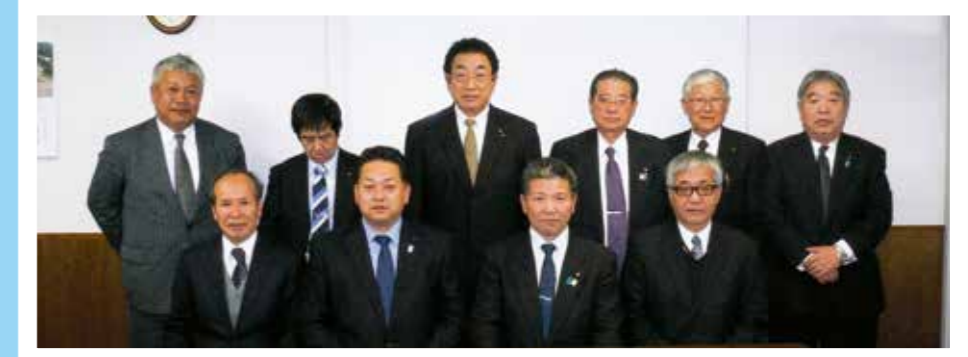
- 安心して子どもを産み育てられる環境の整備に関する事
- 若者の県内定着に向けた施策の推進に関する事
- 青少年を取り巻くニートやいじめなどの諸課題についての施策の推進に関する事
- 女性が活躍できる環境の整備に関する事

現地調査・要望レポート



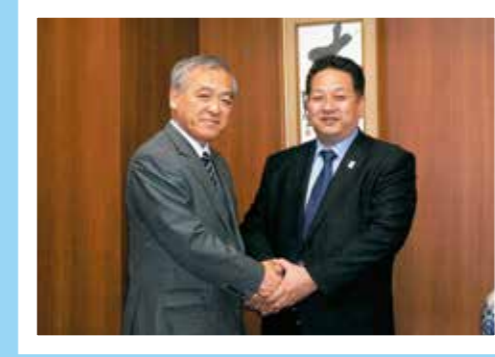
農林水産省 小林農村振興局次長と面談

小林次長から、農業情勢が厳しくなる中で、中山間地の農業振興策や土地改良事業等について今後の見通しをお聞きし、また、地域がかかえる問題について要望して参りました。農業、農村がもつ多面的な機能を活かしていく必要性を感じました。



(財)日本水土総合研究所訪問

市議会絆の会の皆さんと、齊藤統括研究監(元農水省農村振興局次長)、南部総括技術監(元農水省九州農政局局長)に面談しました。26年度国の施策等について今後の方向性をお聞きました。



全国土地改良事業団体連合会 中條専務理事と面談

今後の土地改良事業のあり方等についてお聞きしました。中條専務理事は、元農水省農村振興局局長です。

皆様のご意見をお寄せください。山科ともりのりホームページ <http://www.yamashina.jp/>

県民一人ひとりが喜びと幸せを実感できる

「自然と文明が調和した理想郷やまがた」を実現します

◎新規 ○拡充・継続

産業の振興

成長戦略 1

中小企業の振興!
世界最先端の技術で産業形成!
企業誘致の推進!
「観光立県山形」の実現!

雇用創出

エネルギーを安定供給し、持続的な発展を可能にする環境資産の保全・創造・活用

- 県有施設(36施設)における再生可能エネルギー設備の導入(1,343百万円)
- 市町村・民間防災拠点施設における再エネ設備の導入への支援(1,386百万円)
- 農業水利施設を活用した小水力発電の導入(441百万円)
- 家庭・事業所における再エネ設備の導入への支援(225百万円)
- 小型家電リサイクルシステムの構築への支援(40百万円)
- 企業局における風力・水力発電所建設等(電気事業会計等 865百万円)

新庄最上

- 太陽光・バイオマス発電事業者への融資に対する利子補給(60百万円)
- 木質バイオマス発電施設の整備への支援(1,400百万円)
- 「第38回全国植樹祭」の開催(287百万円)

強みと特色を活かした産業振興・雇用創出

- 中小企業元気活力!プロジェクトの展開(384百万円)
- 有機EL照明関連産業の集積に向けた事業化支援・先導的導入(422百万円)
- 企業立地促進に向けた設備投資等への支援(1,753百万円)
- 東アジア・東南アジア諸国への県産品の販路開拓・拡大(87百万円)
- ディステーションキャンペーンを活用した新たな観光誘客の展開(144百万円)

新庄最上

- 中小企業サポート補助金の創設(300百万円)(再掲)
- 中小企業窓口の強化(総合支庁に地域コーディネーターを配置(42百万円))
- 未就職者の学生・生徒の正職員化に向けた支援(20百万円)

高い競争力を持ち、豊かな地域をつくる農林水産業の展開

- 多様な担い手確保に向けた新規就農の総合支援(1,059百万円)
- 中山間地域等で地域農業を支える水田農業者等への支援(101百万円)
- 学校給食における県産農産物・県産加工品の導入促進(75百万円)
- 畜産における規模拡大等の取組みへの支援(394百万円)
- 飼料用米に係る地域マッチング組織及び流通体制の整備への支援(51百万円)
- 「つや姫」の生産・販売戦略の展開(64百万円)

新庄最上

- 農業大学校において多様な人材を育成するための研修の実施(20百万円)
- 県産農産物を活かした6次産業化の推進(61百万円)
- 県産材集材材の安定供給体制の構築に向けた取組みへの支援(8百万円)



成長戦略 2

「食産業王国やまがた」の実現!

雇用創出

農業

地域活力を生み出し災害に強い県土基盤の形成

- 羽田便2便化・名古屋便就航など航空ネットワークの拡充(155百万円)
- 私立学校における耐震改築に対する補助制度の創設等(798百万円)
- 防災・減災・長寿命化等の視点に立った道路・河川等の社会資本整備(43,324百万円)
- 〈橋梁の長寿命化計画に基づく修繕実施率 全国1位(H25.4)〉
- 通学路の安全確保のための緊急対策(50百万円)

新庄最上

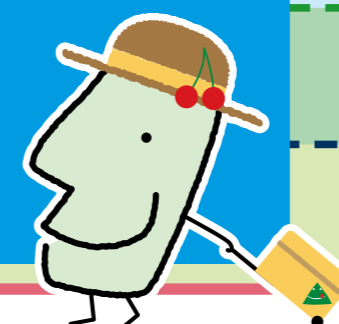
- 有能な大工職人認定による魅力向上と若手の育成支援(5百万円)
- 地域高規格道路(新庄古口道路、高屋道路)の整備推進(国直轄道路事業負担金)
- みちづくり調査費(一般県道曲川新庄線の事業化に向けた調査)(2百万円)

短期アクションプランの6本の柱を着実に推進し、

「山形の“元気”」を発信!

平成26年度 当初予算の概要

6,010億円



県勢の発展を担い、未来を築く子育て支援・人づくりの充実

- 子育て支援医療給付制度の拡充(外来の対象を小3まで拡大)(1,276百万円)
- 教育山形「さんさん」プランの推進(523百万円)
- 県立学校の校舎整備等(5,986百万円)
- 私立学校振興のための一般補助金の拡充(5,388百万円)
- マザーズジョブカフェの設置、ワーク・ライフ・バランスの推進等(36百万円)
- 山形駅西口拠点施設の基本設計等(168百万円)

新庄最上

- 結婚支援体制の強化。結婚観・家庭観の醸成等(39百万円)
- 困難を有する若者等が安心して生活できる社会の構築(20百万円)
- ふるさと山形への帰帰・移住を促す情報発信、移住者の受入支援等(14百万円)

いのちと暮らしを守る安全・安心な社会の構築

- 医師・看護師確保対策の推進(483百万円)
- 介護職員の確保・定着の促進(33百万円)
- 市町村における安心な雪国づくりの支援(雪対策総合交付金等)(89百万円)
- 市町村同報系防災行政無線整備と自主防災組織の育成・強化への支援(109百万円)
- 県防災行政無線再整備の実施設計、防災情報システムの機能強化(466百万円)

新庄最上

- 「やまがた避難者支援協働ネットワーク」の運営等(2百万円)
- 新庄警察署舟形駐在所(仮称)の整備(54百万円)
- 新庄病院エレベーター(2基)耐震化工事(42百万円)

成長戦略 4

福祉・医療・教育の充実!

雇用創出

地域の再生

※誌面の都合により要約してあります。詳しくは山形県のホームページをご覧ください。

山形県ホームページ
<http://www.pref.yamagata.jp/>